岩盤ボーリング柱状図

調　査　名　その他河川 安芸矢野下川　外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング 名	B-2-No.4	**調査位置**	広島市安芸区矢野南四丁目地内					**北 緯**	34° 20′ 13.1129″
発 注 機 関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2020年 10月 21日 ～ 2020年 10月 23日			**東 経**	132° 31′ 53.5533″
調 査 業 者 名		**主任技師**		**現 場 代 理 人**		**コ ア 鑑 定 者**		**ボーリング 責 任 者**	
孔 口 標 高	T.P. 117.01m	**角 度**	180° 上下 90° 0°	**方 位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	
総 削 孔 長	7.00m					**エンジン**	ヤンマーNFD-7	**ポ ン プ**	MS-513

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	地質時代名	記事
1	116.21	0.80		礫混じり砂	褐							0 [0] (95)	新生代第四紀	新規土石流堆積物。含水は小である。φ5～10mm程度の亜角礫～角礫を10～20%混入する。基質は,シルト混じり極粗粒砂～粗粒砂である。
	115.61	1.40		シルト質砂	暗褐							16 [26] (100)		耕作土。シルトを多含する粗粒砂～中粒砂で,含水は中である。
2	114.41	2.60		コンクリート	緑灰	w3	h1	C	III	c		9 [9] (95)		ハンマー軽打で金属音～濁音がする。片状～短柱状コアを主体とする。
3	112.86	4.15		玉石混じり砂礫	灰～褐灰							15 [15] (100)		L=12～15cmの玉石,φ5～60mmの亜角礫～亜円礫を50～60%混入する。基質はシルト混り中礫～極粗粒砂である。含水は中位～大である。木片を混入する。
4														
5				風化花崗斑岩	橙	w3	h2	B	IV	c	CL	14 [38] (100)	中生代白亜紀	ハンマー軽打で金属音を主体とするが,一部濁音となる。短柱状コアと片状コアが繰り返す。低角度亀裂が多く,一部面沿いに角礫化している。岩石組織は明瞭であるが,一部岩芯まで褐色化している。CL級岩盤。
6	110.71	6.30										24 [52] (100)		
7	110.01	7.00		風化花崗斑岩		w1	h1		II	b	CM	31 [71] (100)		ハンマー軽打で金属音がする長柱状コアを主体とする。岩石組織は明瞭である。亀裂沿いのみが褐色化している。深度6.70～7.00m間では,高角度の固結破砕部を挟在する。CM級岩盤。
8														

孔内水位／測定月日：10/22 6.75 ▽　10/23 2.05 ▽

標準貫入　試験

N値	深度－N値 図 (N値 0 10 20 30 40 50)	原位置試験	室内試験
50 / 250 1.15			
1.40	(1/130, 1, 48/20) →		
50 / 250 3.15			
3.40	(2, 3, 45/50) →		
50 / 150 4.00			
4.15	(25, 25/50) →		
50 / 0 5.00			
5.00	(貫入不能) →		
50 / 0 6.00			
6.00	(貫入不能) →		
50 / 0 7.00			
7.00	(貫入不能) →		

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/21	120	66/B2	SCT/MC	20.0	30	0.0	W1/0	0
	96			50.0				
	75							
	75		硬岩 W/DB	30.0	120	0.1	W2/7	7
	84	66/B1						
10/22	88			50.0				
	92							
10/23								